

広島県三次市

学校

三次市立三次中学校
三次市立河内小学校・三次小学校

学校運営協議会

三次中学校区学校運営協議会

令和4年3月31日 設置

委員構成

PTA
三次市社会教育委員
三次地区自治連合会会長
河内地区まちづくり連合会会長
一般社団法人三次ビジョン2040
三次本通り商店街振興組合理事長
民生児童委員 母子推進委員
三次地区体育振興会会長
など 17名

会議回数

年間平均4回程度

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員1名(0名)

地域コーディネーター 1名(1名)

地域学校協働本部

三次中学校区
地域学校協働活動

コミュニティ・スクールを活用した「社会に開かれた教育課程」の取組

背景・取組概要

当中学校区は、令和4年度に三次市教育委員会からコミュニティ・スクールモデル校指定を受け、地域に開かれた学校づくりに先進的に取り組んでいる。また、以前から三次市においては、小中一貫教育の充実を図り取組を行う中で、当中学校区において「**みよし学園地域支援懇話会**」を開き、学校・地域・保護者を交え、**子供たちが20歳になった時になってほしい姿や中学校卒業時に身に付けておくべき資質・能力**について熟議を行った。その意見を整理し、「**主体性**」「**コミュニケーション能力**」「**協調性**」という身に付けさせたい3つの資質・能力を設定し、学校運営協議会を中心に学校・地域・保護者で協働しながら「社会に開かれた教育課程」の充実を図ってきた。

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆学校運営協議会との熟議による社会に開かれた教育課程の実現

○三次中学校 第2学年 総合的な学習の時間「職場体験学習」
「地域に根付き、地域に貢献されている職業から学ぶ～自らの資質・能力をさらに向上させるために～」を目的として実施した。そこで学校運営協議会の方との熟議を行い、実施趣旨の確認や、身に付けたい資質・能力の確認を行い、各事業所への実施依頼を委員の方にしていただいた。
単に仕事を体験するだけでなく「3つの資質・能力」についても意識してもらい、学校からも再度振り返りを行うことで、以前よりも充実した取組となった。

○河内小学校 第1・2学年 生活科「地域郷土学習」
1年生は「自然との関わりに関心をもつこと、地域の自然やくらしの良さに気づき大切にすること、自分たちの遊びや生活を工夫できること」、2年生は「地域にある野菜に関心をもつこと、世話をする中で、生命があることや成長していることに気づくこと、地域のよさに気づき愛着を持ち、継続的に育てることができる」を目的として実施した。事前に生産者の方と学習の目的や栽培にかかる思いなどを熟議した結果いろいろな場面で協力をいただき、充実した取組を進めることができた。

○三次小学校 第3学年 総合的な学習の時間「ふるさとのはっけん～三次探検隊～」
三次唐麴焼きを町おこしとして活動されている様子を調べる活動を通して、三次の良さを知り、自分の住んでいる地域に誇りを持つことを目的として実施した。学校運営協議会と学習の目的などを事前に熟議し取組を行った結果、児童は「三次唐麴焼きは、三次の良さに誇りを持ってほしいという願いが込められて作られていた」ということを知り、今後も多くの人に知ってもらうために自分ができることについて考えていきたいという思いをもつことができた。

成果・効果

・資質・能力について学校運営協議会と地域住民との熟議により策定したことにより、目指す子供像と身に付けさせたい資質・能力について意識の共有が図られた。
・**児童生徒による資質・能力の自己評価**では、特にコミュニケーション能力や協調性において、大きな向上が見られる。また、**保護者の学校満足度**が非常に高まっている。
・地域連携カリキュラムの検討の段階から、地域学校協働活動推進員が中心となって学校と地域をつなぐことで、学習内容が深化している。
・児童生徒が学習を通して地域づくりの取組に参画できる仕組みを作ったことで、当事者意識が高まり、地域と学校との協働が推進されている。
・学校運営協議会での熟議を通して、学校・保護者・地域が一体となった取組の成果について評価することができ、改善につながっている。



身に付けさせたい資質・能力 R3とR5との比較		本校に入学してよかった	
コミュニケーション能力	協調性	生徒	保護者
+9.2pt	+15pt	93.6%	92.5%